

**不適合情報**

2016年11月9日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。  
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

<http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/inside/pdf/image1.pdf>

## 1. GⅠグレード 0件

## 2. GⅡグレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	原子炉安全の観点から見たグレード
1	4号機	タービン建屋1階換気空調系サンプリングラック盤において、近傍で作業をしていた協力企業作業員のヘルメットが、タービン建屋排風機出口サンプリングポンプの操作スイッチに触れ、当該ポンプを停止させたことを確認した。当該事象の原因を調査。なお、当該ポンプは復旧済み。	GⅢ以下

## 3. GⅢグレード 16件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	1号機	南側66kV開閉所No. 8空気タンクのブロー配管フランジ部より微量の空気漏れを確認した。当該部を点検・修理。	
2	1号機	直流125V分電盤1A-3扉開閉用レバーの動作不良を確認した。当該レバーを点検・修理。	
3	2号機	換気空調補機常用冷却水系冷凍機(C)の点検時、潤滑油ポンプの電源ケーブルに損傷を確認した。当該ケーブルを点検・修理。	
4	2号機	タービン建屋小容量電源盤の故障を示す警報が発生し、タービン建屋排風機出口サンプルポンプが停止したことを確認した。当該事象の原因を調査し点検・修理。	
5	3号機	タービン建屋屋上(非管理区域)において、協力企業作業員が、外壁の補修作業でカッターを使用していたところ、誤って右手親指と人差指の間を切ったことを確認した。業務車にて病院へ搬送、治療し帰社(不休)【平成28年11月8日公表済み】 <a href="http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/press/pdf/2016/28110801p.pdf">http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/press/pdf/2016/28110801p.pdf</a>	
6	6号機	制御棒駆動系水圧制御ユニット(No. 06-23、No. 26-19)充填水止め弁にシートパスを確認した。当該弁を点検・修理。	
7	6号機	制御棒駆動系水圧制御ユニット(No. 22-15、No. 26-35)充填水止め弁にシートパスを確認した。当該弁を点検・修理。	
8	6号機	制御棒駆動系水圧制御ユニット(No. 10-19、No. 30-15)充填水止め弁にシートパスを確認した。当該弁を点検・修理。	
9	6号機	制御棒駆動系水圧制御ユニット(No. 46-39、No. 42-59)充填水止め弁にシートパスを確認した。当該弁を点検・修理。	
10	6号機	制御棒駆動系水圧制御ユニット(No. 66-39、No. 46-43)充填水止め弁にシートパスを確認した。当該弁を点検・修理。	
11	6号機	制御棒駆動系水圧制御ユニット(No. 38-35、No. 42-55)充填水止め弁にシートパスを確認した。当該弁を点検・修理。	
12	6号機	気体廃棄物処理系ホールドアップ塔室空調機(A)の電気ヒータ制御盤に異常を示す警報が発生し、電気ヒータの停止を確認した。当該事象の原因を調査し点検・修理。	
13	7号機	電解鉄イオン供給ポンプのメカニカルシール部より微量の水の滴下を確認した。当該部を点検・修理。	
14	7号機	使用済燃料プールゲートの点検時、使用済燃料プール側壁面にテープ片およびシール材が付着していることを確認した。当該事象の原因を調査し回収。	
15	その他	荒浜側屋外の飲料水配管隔離弁にシートパスを確認した。当該弁を点検・修理。	
16	その他	荒浜側焼却設備送風機の出口温度検出器に動作不良を確認した。当該検出器を点検・修理。	